

「省エネ型深槽曝気技術」実用化へ

前澤工業

B―DASH採択 J.S.埼玉県と

前澤工業は11日、国土交通省が今年度実施する下水道革新的技術実証事業（B―DASHプロジェクト）において、日

本下水道事業団、埼玉県と共同で提案した「省エネ型深槽曝気技術」に関する実証事業」が採択され

県荒川右岸流域下水道新河岸川水循環センターを、実証フィールドとして、深槽反応タンクにおいて、散気装置の設置位置

を従来の槽中間部から底部へと変更することで酸素移動効率を向上させる省エネ型深槽曝気技術について、消費電力量と温室効果ガス排出量の削減やLCCの縮減効果、性能などを実証することに

は、さらなる省エネ化が課題となっているなか、提案技術では深槽反応タンクの底部に散気装置を設置する深槽全面エアレーションを行い、酸素移動効率を向上させることで、送風量を削減して曝気動力を削減し、消費電力量と温室効果ガス排出量の削減とLCCの縮

減を図る。また、散気装置の設置数を削減することで機器費を削減するとともに、散気装置の底部設置により設置架台や据付時の高所足場が不要となり設置コストの縮減が可能となる。底部設置によって維持管理性と安全性の向上も図る。